

令和4年7月20日
幸手市立八代小学校
幸手市平須賀1-14
0480-48-0960

たくさんのご支援とご協力に感謝申し上げます

校長 富澤敏夫

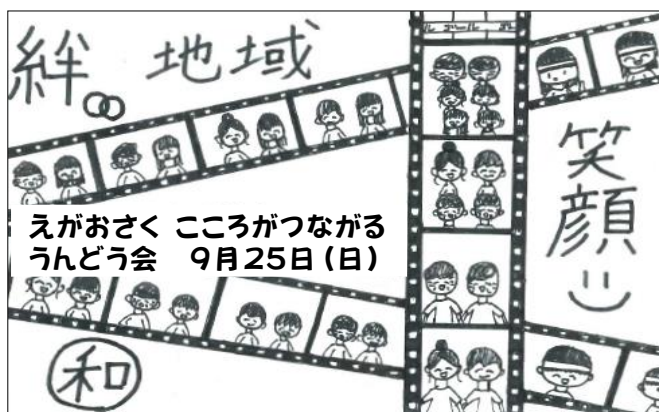


今学期は、コロナ禍の状況下ではありましたが、感染防止対策を第一としつつ、可能な限り教育活動の範囲を広げ、昨年度同時期以上の取組を実施しました。また、梅雨明け後は、例年になく猛暑で、一時、予断を許さない状況でしたが、その暑さも一段落し、本日、無事に1学期の終業式を迎えることができました。

この4か月間、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様、後援会・地域の皆様方には、登下校の安全見守り、あたたかな声かけ、学習支援、学校の環境整備等、数多くの場面でお世話になりました。心より感謝申し上げます。

本来であれば、お世話になった方々お一人お一人に直接お礼を申し上げるべきところですが、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。おかげさまで、子ども達は、学校生活の中で、ご家庭で、地域でたくさんの人と関わりながら成長することができました。その成長を子ども達一人一人が実感し、新たな成長に繋げることができるよう、改めて子ども達にお声をかけていただければ幸いです。

明日から夏休み、子ども達が家庭や地域に帰ります。新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される状況下での42日間となります。充実した夏休みとなるよう、感染予防・熱中症予防、及び交通事故・水難事故等の未然防止に関し、子ども達の見守りと見届けをどうぞよろしくお願いいたします。



ニコニコふれあい運動会ポスター募集図案より

コロナ禍により、令和2・3年度は実施することができませんでしたが、今年度は規模を縮小(半日開催)して実施する方向です。

★今後の主な予定★

- 7月25日(月)、27日(水)～29日(金) 個人面談(学級の日程による)
- 8月21日(日) 親子除草
- 9月1日(木) 第2学期始業式
- 2日(金) 給食開始
- 21日(水)・22日(木) 校内絵画展
- 25日(日) ニコニコふれあい運動会
- 26日(月) 振替休業日
- 28日(水) 開校記念日



* 今後、新型コロナウイルス感染症の拡大により、上記行事予定に変更が生じた場合は、メール配信にてお知らせします。

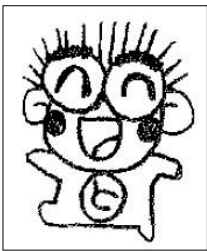
* 夏季休業中の土曜日・日曜日、祝日、及び8月12日・15～17日については、学校職員は不在となりますので、緊急の連絡先は、幸手市役所(43-1111)

全校朝会（7月講話朝会）での話から

「人と人との出会い」ほど素晴らしいものはありません。必然的なものもありますが、ほとんどが偶然です。その「偶然」から生まれる物語、不思議さ、大切さ…について、子ども達に伝えたく、全校朝会（7月講話朝会）で話をしました。以下は、学校だより用書き下ろしたものです。

今日は、人と人との出会いの不思議、大切さについて、私が経験したことからお話をします。

今から35年も前の話です。当時の教え子から、「富澤先生はどうして先生になったのですか？」と聞かれたことがありました。私は即座に、「今、目の前にいるみんなと出会うためだよ。」と答えました。今思えば鳥肌が立つてしまうような言葉ですが、本気でそう思っていましたし、今でもそう思っています。



さて、ここで、あるスタンプの話をしてしまおう。これは、私が担任時代に作ったものです。25年ほど前、オリジナルのスタンプを作りたいと考えていたところ、かつての教え子の中にイラストをかくことがとても得意な教え子がいたことを思い出しました。絵をかくことが苦手な私からすると尊敬に値する子でした。マユカさんといいます。

スタンプのデザインについて相談したのは、マユカさんが高校生になったころだったと記憶しています。「やったね」「すばらしい」「もうすこし」などのイメージを絵にかいてもらい、はんこやさんに頼んで、スタンプにさせていただきました。その後の担任時代はもちろん、担任を離れてからも、ことあるごとにスタンプを活用してきました。物をすぐになくしてしまう私からすれば、今もなお、こうして残っているのは奇跡かもしれません。

しかし、25年も使っているとさすがにゴム版が痛みましたし、せっかくのデザインがなくなってしまう心配もあります。そこで、デザインをリニューアルし、データ化しようと考えました。データにすれば、保存も半永久的にできますし、応用範囲が広がります。そこで今度は、リョウイチさんに相談をしました。

リョウイチさんとは7年ほど前に一緒に仕事をしたことがあるのですが、今では、イラストレーターの仕事をしています。絵をかくのがとても上手でパソコンも得意な方でしたので、すぐにリョウイチさんのことが浮かび、依頼することにしたのです。昔のよしみもありましたので、快諾していただき、そして、できあがったデザインのひとつがこちらです。シールにもしてありますが、毎学期末に実施する漢字コンテストの『満点ごほうびシール』としても使う予定です。

そして、物語は続きます。このデザインを普段使っているエプロンにアイロンプリントしたのですが、6月の読み聞かせの際、そのエプロンをしてボランティアの方々にごあいさつに伺ったときのことです。「あら、かわいいわねえ。」「すてきですねえ。」と声をかけていただいたので、「このエプロンは、私の知り合いの方にデザインしてもらった似顔絵データをアイロンプリントシートにして、それを貼り付けて作ったのですよ。」と説明をしました。

すると、「あっ、それって私の息子がデザインしたものですよ！」なんと、ボランティアの方々の中に、先ほど紹介したリョウイチさんのお母様がいらっしゃったのです。この出来事に、その場にいた皆さんは驚き、そして、感動していらっしゃいました。「今日は朝からいいお話、聞かせてもらっちゃったなあ。」とおっしゃる方もいました。



いかがでしたか。人と人が出会うことから始まる物語って不思議だと思いませんか。そして、ちょっとした何かを行うことが、新しい物語を生み出すこともあるのです。今、みなさんの身の回りにいる人、今まで出会った人たち、これから出会うたくさんの人たちを大切に、たくさんのお話を作ってください。

「お互いに相手を理解・リスペクト（尊重）し、学び合う」ことができれば、新しい価値観が醸成され、自他の有益に繋がるのではないかと考えます。また、人は出会いの数の分だけ、より大きく成長することができるのではないのでしょうか。子ども達が、主役となる自分に加え、たくさんの登場人物ですてきな物語を紡いでいけるよう、これからも支援して参ります。

